

そよ風

第2号

今治市立立花中学校



～SDGsと人権～



最近、『SDGs』という言葉がニュースや会社のホームページなどいろいろな場面でよく見たり聞いたりします。「いったい何のこと?」「そもそもどうやって読むの?」と感じた方も多いのではないのでしょうか。実は、この『SDGs』は人権と大きく関わりのあるものなのです。

そこで今回は『SDGs』について関心を持っていきましょう。

■ SDGs (エスディーゼズ) ってなに?

2015年9月、国連で「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ(以下、2030アジェンダ)」が採択されました。これは、地球や人類の繁栄のために、全世界が2030年までに達成すべき目標を掲げた文書です。前文には「誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現する」と宣言されており、「人権尊重」が大きな柱となっています。

この2030アジェンダで掲げられている行動目標が、17の目標と169のターゲット(達成基準)で構成された「SDGs (Sustainable Development Goals)」であり、実現に向けて、世界でも国内でもさまざまな取組が進められています。



日本ではSDGsを達成するため、2016年12月に「SDGs実施指針」を策定しました。近年、メディアを通してよく耳にする「働き方改革」や「女性の活躍推進」は、この指針に沿った取組の一つです。

■ 子どもたちの課題と目標

SDGsには、ユニセフ等の働きかけを受け、子どもに関連する多くの課題が含まれています。それらは、以下のように分けて考えることができます。

◇不平等、格差をなくすための目標

目標1(貧困の撲滅)、2(飢餓の撲滅)、3(健康)、4(教育)、5(ジェンダーの平等)、6(安全な水と衛生)、8(人にふさわしい雇用)は『すべての子ども(人)』『あらゆる場所』と示され、

これらの課題において不平等・格差をなくしていくことを目指しています。さらに、目標 10 は、国内および国家間の不平等の削減そのものを掲げています。

◇すべての子どもを暴力・虐待から守るための目標

目標 16 は、平和で誰もが受け入れられる社会の実現を掲げます。目標 16 の下に子どもに対するあらゆる形態の暴力の撤廃、すべての人への出生登録の提供、目標 5 の下に女子に対する暴力や児童婚の撤廃、目標 8 の下に児童労働の撤廃が含まれるなど、SDGs には様々な子どもの保護の課題が含まれています。

◇子どもたちに持続可能な環境を残すための目標

目標 13 (気候変動への対応)、14 (海洋資源の保存)、15 (地球環境の保護) が地球環境に関する目標であり、また、目標 7 (持続可能なエネルギー)、11 (安全なまち)、12 (責任ある消費・生産) 等にも、人びとの生活の豊かさが自然と調和する社会・経済のあり方が掲げられています。

■ 私たちにできること ①関心を持つ！

SDGs について関心を持つことは、世界の現実について関心を持つことと同じです。「貧困に苦しむ人がいる」「学校に通えない子どもがいる」「このまま地球温暖化が進めばいずれ人が住めない環境になってしまう」など、普段の生活からは考えることがない世界の問題へ目を向けることができます。みなさんの世界観を広げ、多様性を認める助けになるでしょう。また、その中から問題を発見し、自分の生活に置き換える経験ができます。環境問題やジェンダー問題など、「自分が一つの行動を起こすことで、社会全体を変えることができる」というように、自分と社会の繋がりを感ずることができるでしょう。

■ 私たちにできること ②行動してみる！

情報化が進む現代、調べようとする意志さえあれば、様々な情報を集めることができます。「世界の人々はどんな食事をしているのかな?」「世界にはどんな自然があるのかな?」と興味を持って調べることからスタートしましょう。もちろん、インターネットを使えば写真や動画を交えながら楽しく情報収集をすることができます。基礎的なパソコン操作やキーボード入力を覚え、ネットリテラシーを学ぶ良い機会にもなります。ただ、情報が膨大になり過ぎるため、自分が本当に必要としている情報を取捨選択する必要があります。こういった経験もみなさんにとって重要で、自分の目的に沿った情報のみを集める練習になります。また、本を使った情報収集は信頼性が高まるため、従来通り行いましょう。

■ まとめ

SDGs は目標の数が多く、また内容が多岐にわたるため「これで達成!」というゴール設定が困難です。「自分たちの努力だけでは世界問題を解決することはできない」という葛藤が生まれるかもしれません。ただ、「自分たちだけで完全な解決は困難だけど、自分たちが行動しなければ世界は変わらない」というのも事実です。

今年度は、立花中生徒会もこの問題に関心を持ち、大きな一歩を踏み出そうとしています。正解のない問題に立ち向かい、自分たちにできることを模索し続けましょう!